

- 目 次 -

- 2~ 6 一般質問
- 6~ 7 条例・補正予算審議他
- 8..... 会議録検索システム
- 9..... 常任委員会活動報告
- 10..... 議会諸報告・編集後記他

《 6 月 定 例 会 》

平成20年6月定例会は、6月5日から13日までの9日間開かれ、議案14件(条例2件、補正予算3件、その他9件)報告事項1件及び議員提出等議案9件の計24件について原案のとおり可決しました。

また、今期定例会においては、14人の議員が一般質問を行うとともに、議案審議においても、さまざまな行政課題に対して、活発な議論が展開されました。



力のかぎり・母校のために

去る6月7~8日(一部、日)市内各施設を会場に名取市中学校総合体育大会が開催されました。当日は、市内の中学生が、各種目で日頃の練習の成果を発揮し、ベストを尽して技を競い合いました。また、多くの生徒・保護者らが応援にかけつけ、選手に力強い声援を送りました。

均衡のとれたまちづくり

郷内良 治議員

議員 本市は昭和三十年に二町四ヶ村が合併して名取町となり、昭和三十三年に市制施行され名取市となった。今年で市制施行五十周年を迎えようとしているが、この五十年の間に本市は人口も増加し著しい発展を遂げてきた。

しかし、市土全体を考えると宅地開発による新興団地は増え

たものの、合併当時の二町四ヶ村の中心地といわれる地域は五十年を迎える現在でもあまり変わりない状況であり、過疎化していると思われる。市としてどのように受け止めているのか。また、五十周年を機に各地域の

特徴を活かしたまちづくりに優先して取り組み市土全体の均衡のとれた住み良いまちづくりをすべきと考えるがどうか。

市長 合併当時から見る人口、或いは、産業立地などの趨勢から一般的に言う過疎化の認識はないが、各中心地域の現状については取り組む課題が多いとらえている。

地域の特徴を活かした活性化については、現長期総合計画で

市独自の奨学金制度の創設を

小野寺 美穂議員

議員 今日貧困と格差問題は、子どもたちにも大きな影響を及ぼしている。広がる経済格差は教育格差にもつながっている。合格しても、入学金が払えない、制服等就学に必要なものが準備できないなどの実態がある。経済的理由により学業半ばで退学せざるを得ないケースも少なくない。世界一高い学費と突出する私費負担、最下位レベルの低い教育予算がその背景にある。返還が不要な奨学金制度もない。

未来を担う子どもたちの教育を受ける権利を保障するために、各市独自の無利子かつ迅速な審査と決定による入学準備金や奨学金制度を創設すべきと考える。

市長 奨学金制度の研究を担当部署に申し入れている。就学に必要な支援も含めた研究がなされているものと考えている。方向性としては、無利子運営、迅速な審査と決定を重点に研究しなければならぬと考えている。

教育委員長 高校、大学の入学時に必要となる一時的な資金の支援制度の導入については、奨学金制度と併せて研究を行っている。大きな希望を胸に学校生活をスタートさせるべき子どもたちが経済的な理由により、就学が困難になる状況が生じていることは、十分に認識している。前向きに検討してまいりたい。

もその視点で施策の展開を図ってきた。また、今年度から着手する第

貞山堀改修と環境整備について

沼田 喜一郎議員

議員 国交省と県は大災害時の緊急輸送ルートとして、河川の活用を提言している。渇水時を除く平常時に航行可能な河川として、名取川は、広瀬川との合流点付近まで、貞山運河は全域で航行可能と報告されている。

しかし、閉上宮下橋南側付近では浅瀬になっており、航行に支障を来している。底地部の土砂撤去や沈船・放棄船の撤収等を実施し航行の安全対策や環境整備に取り組むべきである。



▲閉上貞山堀

五次長期総合計画においても、この点を十分に踏まえていく必要があると考えている。

は現地調査を行う。沈船・放棄船は本来は所有者が処理すべきだが、所有者不明の場合は、土木事務所に連絡している。

撤収等の処理費用が高額なため、今後は、地元漁協の協力を得ながら処理の対応について土木事務所に要望していく。

議員 避難用階段の設置要望書が出されている。舟での避難や物資運搬、けが人等の搬送にも活用するため貞山堀のり面への階段護岸を設置すべきである。

市長 階段護岸は現在東側に一箇所設置されている。貞山運河の利活用については、各団体で活発に議論が行われており、これらの動向を見極め、増設について要望していく。

お知らせ

次の定例会は、
九月三日(水曜日)
開会予定です。

一般質問

安全な通学について

太田 稔 郎 議員

議員 県道愛島名取線は、一部に歩道が設置されている。この県道は、館腰小学校や名取一中の児童生徒の通学路になっている。

狭いうえに歩きにくい歩道が両側にある。車いすの方々や乳母車を押して歩く親たちは、車道にはみ出て歩かなければならない。通学や生活面で大変危険である。県との協議を進め改善すべきである。

市長 飯野坂四丁目、明観寺付

医療圏改編による影響は

人見 弘 志 議員

議員 平成十七年十二月本市に救急病院を誘致して欲しいという署名が、短期間だったが約一万四千人分集まった。しかし、その時は岩沼医療圏では、新規病院開設のためのベッド数に余裕はなく、五年に一度県の医療審議会で見直しがあるので待つてほしいということだった。今年がその五年目に当たるので、待つていたが、医療審議会では岩沼医療圏を他の医療圏ととも

に、仙台医療圏に統合するということだった。統合したらベッド数に余裕が出るというならわかるが、逆であればまったく裏切られた気がする。このようない事態を市長はどう考えか。

市長 第五次宮城県地域医療計画では、今まで十圏域だったのを七圏域とし仙台医療圏には五市三郡が統合された。旧岩沼医療圏の基準病床数は七十一床才一パーしていた。新たな仙台医療圏の基準病床数は、一万一千四百三十六床に対して既存病床数は一万二千六百八十七床で一千二百五十一床オーバーしている。新たな病院の誘致ができないということに変わりは無いが、医療圏が拡大したことに伴い、圏内の医療機関が名取市に移転可能な状況になった。今後も基準病床数の緩和を含め国・県に要望していく。



▲ 県道愛島名取線

水害対策について

森 良 二 議員

る充実を目指したい。
議員 子供たちは電柱の陰に隠れて車をやり過ごして歩いている。中学生の自転車は車道に膨らんで通っていて大変危険である。教育長は市長にどのように

訴えているのか伺いたい。
教育長 かなりの危険度が潜んでいると市長も認識している。大変なリスクがある。これから、安全が確保できるよう努めていきたい。

議員 本市は過去幾度となく水害による洪水被害を被ってきた。昭和六十一年八月五日洪水や平成六年九月二十二日の水害後、市内で実施された治水事業が完成しても課題が山積している。河川整備の現状について伺う。
市長 増田川の整備は激甚災害対策で寺野橋まで完成。川内沢川・志賀沢川は農政関係で整備川内沢川の放水路は土木サイドで平成二十四年に完成予定。貞山運河は名取川農業水利事業で堤防の嵩上げ、河道拡幅、護岸工事等の整備を行っている。
議員 これからの本市発展には都市防災を考える意味でも、洪水被害の防止は重要な施策と考える。その被害減少に貢献してきた土地改良区の排水機場の設備の老朽化が激しく、更新計画が進められているが高額な事業費の負担予想に農家の間で異論が出ている。本排水施設の影響



▲ 関上排水機場

災害時の情報発信について

山田 司 郎 議員

議員 災害時の市民への情報発信と周知徹底を補完するために、メールの一斉配信システムを活用すべきと考えるがどうか。

電話回線に対してメールは緊急時の混線が少なく、集中アクセスに強い手段といえる。他県

では災害時の集中アクセスに対する実験もされている。学校教育だけでなく行政単位の仕組みもできており、災害時のタイムリーな情報発信を補完する機能として導入に向けて是非検討すべき。

温暖化防止対策について

星 居 敬 子 議員

議員 温暖化による異常気象が地球規模で発生し、自然が破壊されるなど私達の生活に大きな影響を与えている。京都議定書のCO₂削減目標は、本年から五年間で六割削減となっており、待ったなしのところまで来ている。

関し、平成十四年度から温室効果ガス排出抑制等のための実行計画を策定し、市役所分庁舎及び、庁外施設における一年間の温室効果ガス排出量の調査を行い各施設から排出されるCO₂削減につとめている。

今、地球温暖化対策推進法の改正が議論されているが、本市の取り組みについて伺う。

市長 今国会で審議中であり、詳細は把握していない。従来から地方公共団体は実行計画を策定することになっているが、本市は該当しないため計画策定はしない。しかし、地方公共団体の責務として自らの事務事業に

環境対策の先進市では、クールアースデーの実施や現在のCO₂の排出量の測定等を行い発表している。本市は、新たな取り組みを行わないのか。

課長 資源の再生利用あるいは電気・水道・ガスの削減目標に向かってチェックしていきたい。家庭や事業者にも省エネを働きかけていきたい。

市長 メールの一斉配信については、有効性のある情報発信システムであると理解している。同報系防災行政無線の整備計画と合わせて、導入について研究してまいりたい。

議員 現在、各小学校単位で行われているメール配信は、教育委員会から登録している全員への配信が可能である。少しでも

多くの市民に情報を周知するという意味で、使える仕組みはそのまま活用すべきと考えるがどうか。

市長 教育委員会で対応しているメール配信を、災害時に活用するかどうかは庁内で調整ができていないが、有効な手段のひとつとして、視野に入れた上で検討してまいりたい。

商店街活性化について

高橋 史 光 議員

議員 全国各地において商店街の空洞化が大きな問題となっている。本市では今、中心市街地活性化基本計画を策定中で国の認可に向けて準備中である。街に賑わいを取り戻すためにも空き店舗対策は重要課題である。

「名取市商店会実態調査」で中心商店街に空き店舗が八件と報告されている。その有効活用として、やる気のある挑戦者等に対して新たな店舗や、集客に役立つ店舗として店舗の改装費用や家賃を補助する、チャレンジショップ事業補助金制度」を創設すべき。

事業の案がある。中小企業庁に同制度があり、他の事業との整合性や連携を図り、活性化に活かしたい。市独自の制度創設は調査研究したい。

議員 賑わいを取り戻す商店街や商店にするには主婦や学生などが取り組みやすい環境が必要だ。空き店舗や空き地に公設民営型手法で何店か入れるチャレンジ支援の取り組みはどうか。

市長 公設民営型の共同店舗は空き店舗対策とは別の視点で、既存の商店街を再構築する意味から空き店舗に対する支援ができないかを検討していきたい。

市長 中心市街地活性化基本計画を策定中であり、空き店舗対策の一つにチャレンジショップ

議会を傍聴 しませんか

「次回の定例会の
開会予定は九月です」

本市議会では、定例会が年に四回(二月・六月・九月・十二月)開催されます。

本会議・各委員会は一般の方に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴を希望される方は、市役所議会棟二階の議会事務局までおいでください。

議会日程等についてのお問い合わせは、お気軽に市議会事務局にお問い合わせください。

☎三八四 二一一一内線二八二

その他の一般質問

質問順

郷内良治 議員

農政問題

災害に強いまちづくり

小野寺美穂 議員

ごみ環境問題 防災施策

貧困と格差の問題

沼田喜一郎 議員

貞山運河フェスティバル

貞山堀閉上水門の移設改修

土地改良区の排水機場改修

市長選挙

本田稔郎 議員

災害対策 商店街支援事業

農業の振興

お昼休憩を一時間とすべき

本郷 一浩 議員

議員 職員のお昼休憩時間は、昨年四月から四十五分になった。商店主から、一時間にしてほしいとの声もある。市民も四十五分だから立派だとか、それを歓迎したいとは思っていない。お昼休憩、四十五分のメリックトは何なのだろうか。

職員は緊張の中で仕事をしている。お昼休憩時間は心と体を休めるひと時でもある。お昼が一つの区切りとなつて、気分一新で午後の仕事に入っていくことは好ましいことである。慌しく午後の仕事に入るのでは、マインスはあつてもプラスにはならない。

十五分短くしたことによって、様々な影響が出ていると思う。市役所といえども近隣とともに

二期目を目指す市長の市政運営

今野 栄 希 議員

議員 市民の強い要望である次の点についてお伺いする。

窓口サービスの改善はどのように取り組んでいくのか。

市長 住民票等の自動交付機導入を行い、利便性の向上を図る。議員 保育所の保育時間を延長すべきと考えるがどうか。

市長 保育時間については一時間の延長を検討している。

議員 陸上競技場を多目的グラウンドにすべきである。また、屋外夜間照明体育施設の設置を図るべきである。さらに箱塚グ

ラウンドの外側にフェンスを設置すべきと考えるがどうか。

市長 関係機関や競技団体と協議・調整し、改修計画を策定する。また、フェンスについては、必要と思われる箇所を調査し、対応を検討していく。

議員 名取駅前に図書館を核としたマルチメディア資料館を建設すべきである。

市長 マルチメディアの活用は重要であると認識している。図書館を核とした施設整備の中で検討していく。



▲十三塚公園市民陸上競技場

歩むものであるはず。職員の健康管理や近隣商店の購買利用から、お昼休憩時間を一時間とすべきと思うがどうか。

市長 お昼休憩時間を四十五分にするにあたり、これを一時間とし帰庁時間を五時三十分とする案もあった。職員アンケート

等を参考にして決めた。また、他団体で一時間にした例も承知しているが、はっきりした形で周辺飲食店からの要望等はない。職員の健康管理は別問題と考えており、休憩時間を変更する予定はない。

自給率向上と後継者が育つ農業

大沼 宗彦 議員

議員 今の農政は農家の尊厳や農家がやる気をおこすことになつていない。作付けをふやし、農家の収入も増え、農家の励みとなるものになつていない。転作作物は飼料作物の作付け

も含めて、耕作放棄地の活用と併せて市の奨励策が必要である。市長 転作作物等は、農家の意見を取り入れ、名取市水田農業推進協議会で検討、決定されている。

議員 農家の担い手づくり、名取の基幹産業を守る立場から、販売価格の「不足払い制度」として市は価格保障をすべき。

市長 水田経営所得安定対策や産地づくり対策で米価下落の緩和措置・「青果物価格安定制度」の現行制度を活用していきたい。

議員 福島県大熊町では、米一俵（六十粒）当たり二千百円の補助事業をしている。本市としても必要と考えるが。

市長 財源的にも市独自の、不足払い制度創設は困難である。議員 農家の後継者づくりは、

人見弘志 議員 職員採用

森 良二 議員 仙南・仙塩広域水道漏水事故 生産調整実施

山田司郎 議員 公共用地の有効活用 高齢者福祉行政

星居敬子 議員 アレルギー 疾患対策

高橋史光 議員 学校支援ボランティア制度

本郷一浩 議員 災害時要援護者対策

今野栄希 議員 学校給食

大沼宗彦 議員 学校教育の現状と課題

菊地 忍 議員 自主財源確保への取り組み 防災への取り組み

待ったなしの課題。三年間一人月十万円の、新規就農者支援制度創設で思いきった対策を。

市長 宮城県・財団法人みやぎ農業担い手基金の支援事業が十分機能していると判断し、市独自の制度創設の必要性は薄い。

職員の信頼回復について

橋浦正人 議員

議員 本市で平成十八年一月に発覚した会計上の不正流用事件から、二年六ヶ月になる。

この冷却期間を活用して再発防止を考えた時、これまでの綱紀粛正の取り組みが適正であったか、あるいは不祥事を引き起

こす土壤が庁内になかったか等を、厳しく点検し見直すべきだと考えられるかどうか。

市長 適正な公金の取り扱いについては、関係法令にのっとり適正に行うこととし、市民から疑念を抱かれることのないよう

子どもへの予防接種助成を

菊地 忍 議員

議員 本市では、高齢者のインフルエンザ予防接種については、接種費用の一部公費負担が行われているが、子どもへの予防接種は予防接種法の対象外であることから、自費による任意接種となつている。インフルエンザは普通の風邪と異なり、三十八度以上の発熱、頭痛、筋肉痛など全身症状が強いこと、小さい子どもは急性脳症を起こし死亡する場合もあることが指摘されている。このことから小さい子どもをもつ保護者にとっては不安であり、インフルエンザの予防接種を受けさせたいが、家族全員が受けると経済的な負担が多く受けられない、という声が多

聞かれる。そこで、子育て支援の一環としても、小児インフルエンザ予防接種助成について取り組むべきと考えられるかどうか。

市長 幼児のインフルエンザワクチンについては、有効率が三十分程度であるため任意接種が適切であると考えている。

議員 台東区では、学識経験者や医師による専門部会を設置し、ワクチンの有効性について検証・検討を行い助成を実施した。本市でも意見を聞く場を設けるべきと考えるかどうか。

市長 そのような取り組みも含め研究して対応を考えたい。

に機会をとらえて、常々職員に訓示し徹底を図っている。

議員 今後の対応策として公金の取り扱い及び予算の執行等について、情報公開の徹底や監査等の強化等を踏まえ、透明性の向上と公正の確保について、基本的にとどのような方策を講じているのか所信を伺いたい。

市長 予算の執行状況について
は現状においても、情報公開条例に基づく開示を制度化し、透明性の確保について対応している。公正の確保については、例月出納検査及び定期監査により担保されている。

専決処分

更には、決算については、議会の承認を得ていることから、透明性と公正については確保されているものと認識している。

休日夜間急患センター条例の一部改正

市税条例の一部改正

反対討論

小野寺美穂 議員

反対討論

小野寺美穂 議員

今回の診療報酬算定方法の変更は単なる年度等の修正などではない。四月から制度が開始し、医療従事者からも批判が噴出し、後期高齢者医療制度が反映されており、後期高齢者の円滑な退院の調整や終末期医療の話し合いに加算するなどの大変問題のある内容である。

四月に成立した地方税法改正案は、参議院総務委員会での審議途中にもかかわらず、衆議院可決・参議院送付から六十日を経過したが結論を見なかった。すなわち「みなし否決」とされ衆議院が本会議での「再議決」という形で成立したものである。

本市の急患センターにおいても使用料の増額もあるものである。後期高齢者医療制度に対して批判の声が広がり、現時点に

今回の市税条例改正で、六十五歳以上の公的年金受給者から、個人住民税の所得割額と均等割額が年金天引きとなる。介護保険料に加えて、国保税、後期高

条例

国保税条例の一部改正

新たな対象は

議員 被用者保険の被扶養者から新たに国保に加入する対象人数は、部長 二十四世帯である。

特定世帯と

緩和措置は

議員 世帯数は、また緩和措置の内容は、部長 総数を一千百八十七世帯と把握している。また、緩和措置は平等割額が五年間半額になる。

補足説明

特定世帯とは

国保加入者であった七十五歳以上の方が後期高齢者医療制度へ移行し、七十五歳未満の方が一人だけ国保に残る世帯をいう。

一割軽減の申請は

議員 均等割額・平等割額の二割軽減にかかる申請が不要となるが職権ですということか。課長 条項を削除したので職権でということである。

反対討論 小野寺美穂議員

本年度予算でも国保税は後期高齢者医療制度の導入と併せて大幅な増税となった。今回もさらに増税という内容である。老人保健制度の廃止、退職者医療制度の廃止、後期高齢者支援金や前期高齢者医療財政調整制度の導入など、中身の変更もある。しかし、審査当日まで、増税に関わる肝心な資料も示されない。事前に議員協議会などを開き説明が行われている自治体もある。議会軽視と言わざるを得ない。国庫支出金の削減による制度

改善で国保会計は大変厳しいものとなっているが、原油高騰から生活必需品、食料品の値上がりなど市民のくらしがますます圧迫されている中で増税は認められない。

国保条例の一部改正

一部改正

反対討論

大沼宗彦議員

被保険者が死亡したとき、葬祭費としての五万円を支給してきた。これは国保税を納入してきた者の当然の権利である。民間の保険でも、他社と重複していても給付される。しかし、今回、健康保険法や共済組合法などと重複するときは、給付をしないというもので納得できない。出産とは違い、「死亡」は一人一回である。葬祭費五万円は、

一般市政報告

六月五日の本会議において、各議案の審議に先立ち、市長から一般市政報告が行われました。市の重要な問題である各事項について、各議員から、今までの取り組み経過や、今後の対応について質疑が繰り返されられました。

報告事項

後期高齢者医療保険料特別徴収仮徴収の誤りについて
仙南・仙塩広域水道の送水管漏水事故について

葬祭経費の一部にしかならない程度のものである。

来年度から本市では敬老祝いの削減も検討されていると聞く。後期高齢者医療制度の実施で、長寿を喜べない状況にある。生前の労苦に謝意を表わすことも否定するような改正案には反対である。

補正予算

一般会計

下増田臨空土地区画整理補償金について

議員 その内容は、消防次長 消防団下増田分団第二部のポンプ置場の移転による補償金である。

名取が丘東集会所設計委託料について

議員 利便性や環境対応等、どのようなコンセプトか。また、隣接公園との相乗効果を生かした整備計画は。

課長 地元住民の声を反映しながら玄関・通路・スロープなどバリアフリーを取り入れた設計を考える。急勾配による凍結防止や出入口の交通安全対策にも注意して進める。

二丁目・四丁目公園があるが集会所と併せて避難所の整備や自主防災組織の声など設計に反映したい。

合併処理浄化槽設置補助事業について

議員 補正予算の経緯と今後、希望者が増えた場合は。課長 当初予算で七十基を見込んだ。この二か月で設置を希望される方が百四十四件あり、今回八十基の増設を措置するものである。

生活環境を考えた場合、公衆衛生の向上、公共用水の水質汚濁防止の観点からもできる限り取り組んでいきたい。

国民健康保険特別会計

反対討論 小野寺美穂議員

一九八四年に、定率国庫負担を四十五分の一から三十八・五分の一に引き下げたことが、現在の高すぎる国保税の元凶である。この国保法改善を皮切りに、国保事業に対する国庫負担・補助制度を次々改善し、国の責任後退をすすめてきた。財政調整基金の繰り入れも限界に近いという事情は理解するものの、予算編成時にすでに大幅な増税であり、

これ以上の負担を市民に転嫁することは認められない。

財産の取得

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の取得について

議員 特殊の内容は。低床車との事だが問題はないのか。消防長 四輪駆動低床車でホイスタは三十本以上積載(普通二十五本前後)、緊急消防援助隊宮城県消防隊加入義務が特殊と言う事になる。低床車ではあるが問題はない。

あなたのご意見をお聞かせ下さい

傍聴された皆様の「生の声」を議会運営に反映させることを目的に、傍聴席入口に「ご意見箱」を設置しています。

議会の感想や不明な点、ご意見・要望等があれば投函いただきます。よろしくお願いいたします。



▲ 議会棟傍聴席

会議録閲覧と会議録検索システムのご案内

会議録の閲覧

議会で議論されたことは、会議録として作成しています。(会議録作成には、およそ3カ月かかります。)

会議録は、市役所5階の市政情報コーナー、各公民館、図書館などの公共施設に置いてあり、いつでも手軽にごらんいただけます。

会議録検索システム

会議録検索システムが7月1日から運用を開始しました。

定例会・臨時会などの会議録検索ができます。

名取市のホームページ、市議会の「会議録の閲覧」をクリックすると、検索画面が開きます。

「開かれた議会」を目指して
市議会会議録を公開しました。

※検索の言葉を入力すると、検索結果の件数が表示されます。

任意の言葉(キーワード)から検索したり、定例会・臨時会などの会議の指定、発言された議員の名前などから検索することができます。データの更新は、定例会が終了してから約3カ月後になります。

注目のキーワード	HOT KEYWORD
総務・政策・財政・防衛・市民生活	区際交流、長期総合計画、市制施行50周年、行政改革、市民画、MPO、指定管理者、PFI、財源確保、企業誘致、税金、吉、自主防衛組織、防犯、森林公開
建設・都市計画・上下水道・空港	生活道路、河川改修、公園整備、都市計画、まちづくり、地活性化、耐震診断、市営住宅、水道、下水道、空港
産業・環境・教育・文化	地域振興、シニアセールス、中小企業、農業政策、食環境問題、リサイクル、バイオマス、不法投棄、雑音、工業団地支援教育、紀元4000年祭、食育、伝統文化
健康・福祉	健康、高齢者福祉、後期高齢者医療、介護保険、国民健康保険、障害者自立支援、リハビリ、ユニバーサルデザイン、子育て支援、保育所、児童センター

お問い合わせ
名取市議会事務局
郵便番号: 991-1292
宮城県名取市増田字柳田5-1
TEL: 022-384-2111(代表)
FAX: 022-384-9676
◇ 名取市ホームページ
◇ 名取市議会事務局ページ

総務財政

大野城市(福岡県)
周南市(山口県)
東広島市(広島県)

大野城市では、行政改革の一環として、継続的に実施している事務事業に対して、決算データを基に収支をまとめたシート

東広島市ではコンビニ収納について、問題点や利点について学んできた。

建設水道

前原市(福岡県)
原代市(熊本県)
八玉市(熊本県)

前原市では、国の交通バリアフリー法の基本方針を導入して駅前広場等のバリアフリー化計画を策定した。

八代市では、中心市街地活性化基本計画の作成に当ってコンサルタントを雇わず地域の声、消費者の声をもとに自前の計画を策定したことは評価が高い。町の歴史とも無縁ではなく、

玉名市では、「玉名二十一の星事業」について視察を行った。

それぞれの三事業について、市民の立場と意向を取入れた熱心な事業展開は、大変参考になった。

常任委員会活動報告

5月中旬から下旬にかけて、各常任委員会の行政視察を実施しましたので、その概要をお知らせします。なお、各常任委員会では、これら学んだ成果を活かすため、積極的な活動を展開しております。

経済教育

交野市(大阪府)
小浜市(福井県)
越前市(福井県)

交野市では、平等に教育を受けることの教育機会均等から、幼保一元化の保育を実施している。事業の円滑化を図るために「幼児対策室」を新設、事務の確立を徹底したことは参考になった。

小浜市では、屋根付最終処分場を視察した。浸出水の放流が皆無との説明に本市でも検討すべきと、委員の考えが一致した。

民生福祉

宇治市(京都府)
敦賀市(福井県)
泉南市(大阪府)

今回の視察目的は、京都府宇治市における「高齢者福祉オンブズマン制度」と「地域参加型リハビリ事業」、福井県敦賀市の「子育て総合支援センター」と大阪府泉南市の「総合福祉センター」の運営と取り組みについてである。それぞれに学ぶべき事が多かったが、特に、地域との交流を通じて高齢者の自立を促す地域参加型リハビリ事業について、実際の活動状況を見る事ができた。事業は社会福祉協議会に委託され、学区ごとの福祉委員会が虚弱高齢者を対象に歌や遊び等の交流活動



から選択予約し、給食費を添えて申込む前納方式をとり滞納者ゼロは魅力であった。

を週一回行っている。参加している高齢者ばかりでなく、支えるボランティアの方が、生き生きと意欲的に取組んでいる姿が印象に残った。

陳情

市道先井成四号線の拡幅改良整備に関する陳情書（田高町西町内会会長榊原専吉外五名）
県道仙台館腰線の信号機設置に関する陳情書（名取市箱塚第二地区箱塚つつみ町内会会長鹿又輝男）
増田本町町内会・本町集会所の建てかえに係る名取市所有地の借用等に関する陳情書（増田本町町内会会長佐藤信太郎）

のとおり同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

永井 正義（名取が丘）
星 弘（増田西）

農業委員会

委員を推薦

任期満了に伴う農業委員会委員のうち、議会が推薦する委員について、六月十三日の本会議において次の方々を推薦することを全会一致で可決しました。

洞口 とも子（閉上）
洞口 のり子（下増田）
相澤 幸子（館腰）

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

選任に同意

提案された固定資産評価審査委員会委員の選任については、六月五日の本会議において、次

人権擁護委員

候補者を可決

提案された人権擁護委員候補者の推薦については、六月五日

意見書五件を関係機関に提出

議会提案の次の意見書は、六月十三日の本会議で可決し、関係機関に提出しました。

「非核日本宣言」を求める意見書

地球温暖化防止に向けた国民的取り組みへの意識啓発を促すこと等を求める意見書

携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の維持と教育予算の拡充を求める意見書

日本映画への字幕付与を求める意見書

の本会議において、次のとおり原案可決しました。

人権擁護委員候補者

佐々木 尚子（増田西）
平山 智子（相互台）

議会改革特別委員会を設置

委員会を設置

地方分権時代の今、議会には政策形成機能と監視機能のさらなる充実が求められており、また、議会と住民の意思がかけ離れないよう、努力が必要とされています。このような現状を踏まえ、議会の一層の活性化や果たすべき役割を認識し、自己変革を進めるため、次の特別委員会を設置しました。

議会改革特別委員会

委員長 相澤 雅
副委員長 高橋 和夫
委員 菊地 忍
小野寺 美穂
丹野 政喜
山口 實
山田 龍太郎

可決した議案等

条例・補正予算等

国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険条例の一部改正
財産の取得について
二十年度一般会計補正予算

二十年度国民健康保険特別会計補正予算
二十年度下水道事業等会計補正予算
報告
十九年度一般会計予算繰越明許費
専決処分承認
休日夜間急患センター条例の一部改正
市税条例の一部改正
都市計画税条例の一部改正
十九年度一般会計補正予算

議案案

議会議員徽章規程の一部改正
議員派遣の件

表彰

去る五月二十八日東京都で開かれた全国市議会議長会第八十四回定期総会の席上、同議長会会長から次の議員が表彰されました。

議員在職二十年以上表彰
相澤 雅

編集後記

広域水道漏水事故や岩手・宮城内陸地震などにより、事故や災害に対する市民の意識もだいたい高まってきております。改めて、対応された関係各位のご尽力に感謝しますと同時に、被害にあわれた方々に

は、お見舞いを申し上げます。議会だよりを編集するにあたりましては、「一問一答方式」の一般質問をはじめ、議会での議論の様子を、できるだけ「わかりやすい」形で市民の皆様にお伝えできるよう、委員一同、知恵を出し合っているところです。

皆様には是非、ご意見・ご感想をお寄せくださいますようお願いいたします。

委員長 菊地 忍
副委員長 山田 司郎
委員 大沼 宗彦

森 良二
高橋 史光
沼田 喜一郎
人見 弘志
相澤 祐司
山田 龍太郎

